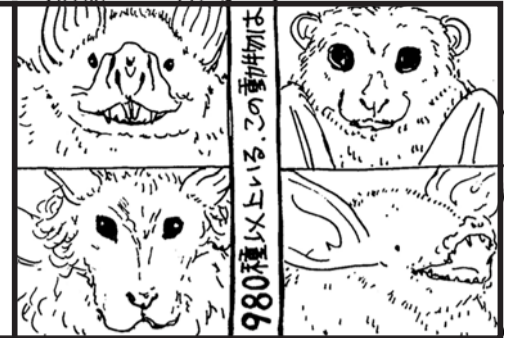




コラーレ倶楽部通信



コラーレ倶楽部通信新聞部
〒938-0031 富山県黒部市三日市 20 番地 コラーレ
TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207



消しゴムはんこづくり「べったん」体験レポ

個性あふれるハンコたち

月に1度の集まりに、テーマを決めて消しゴムはんこづくりを楽しむサークル「べったん」。2016年7月に発足してから早くも3年が経ちました。どんな雰囲気の中でホリホリしているの？ ちょっと体験してきました。

「テーマは一応あったほうが取り掛かりやすいから設けてますが、作ってみたいものがあれば何でも彫ってまじょうよ」と、気軽に声をかけてくださった代表の朝倉貴康さん。日本レイサースタンプ協会（JESCA、通称ジェスカ）の公認インストラクターの資格を持つ朝倉さんを含め、いつも参加するメンバーは4名。この日の初参加は私の他、もう1名いらっしやいました。各自思い思いのモチーフを彫るのに集中しつつも、ワイワイと会話が広がります。「秋のはじまり」というテーマが（一応）あったので、私は鈴虫にトライ。皆さんは、ピカチュウ、ラスカル、エッフェル塔、かぼちゃなど……自由ですね！



5cm角位の消しゴムとトレーシングペーパー、デザインカッター、鉛筆、カッター台等を朝倉さんに準備していただき、制作開始。スマホ検索した鈴虫の姿をトレーシングペーパーに描き、描いた面を消しゴムに当てて写します。が、写し失敗により線がずれてしまいました。「マジックで線を太くしておけば、どの部分を削るか残すかはっきりして彫りやすいですよ」と朝倉さんからアドバイス。「彫り方にもコツがあるんですか？」と質問すると「好きなように、やりやすいようにでいいんですよ。あとは慣れです」とのこと。

消しゴムを机に置いたままが彫りやすいという人もいれば、手に持って自在に動かして彫るのが好きというメンバーの声。モチーフを選ぶセンスも彫り方も様々で、個性が表れていてオモシロイ！ と感じました。お話を伺いつつ、体験ホリホリしつつであっという間に終了時間がきました。私は未完成でしたが、初参加のおひとりは2作品も仕上げられ、完成作品をスタンプすると皆から歓声があがりました～！ スタンプされる作品を見て、みんながほんわかした気分になれるって、楽しい！ 「ふらっと気軽に、道具無しで1回限りの参加でも全く気にせず、ぜひ体験しに来てください！」べったんのみなさんと、この楽しさ味わってみませんか？

(TEXT = P)



今年初春から参加しているSさんは、毎月みんなと会うのをとっても楽しみにしているそうです。作品には、弾む会話と笑顔も一緒に、思い出も彫られているのかなあ。



初めてにしてこの出来映え！ 鉛筆やペンの線とは違う、彫った線の味わいはまた格別なものですな。スタンプの色を変えたら、別の表情が生まれます。これぞオリジナルの宝物。

「べったん」にあなたも参加しませんか。

消しゴムをカッターで彫り、オリジナルはんこを作ります。季節ごとにモチーフを変えて、みんなでいろいろなスタンプを楽しみましょう。カードやノートなどに押すと、あなた印になりますよ。

- 【集まり】毎月1回程度
- 【参加資格】コラーレ倶楽部会員（いつでも入会できます）
- ◎ 600円程度の参加費（材料費含）をいただきます。
- ◎ 初心者には道具をお貸しし、指導します。1回のみ参加も可能。
- ※ お申し込み・お問い合わせはコラーレまで（tel. 0765-57-1201）



今月のひとりごと

10月のおまつり!?

10月のイベントって何があるんだろうと検索すると、「オクトーバーフェスト」という聞き慣れないワードが出てきました。皆さんは、「オクトーバーフェスト」って知っていますか？

調べてみると、200年もの歴史のあるドイツ、ミュンヘンの祭りなんですって！ 1810年、バイエルン皇太子の大規模に行われた結婚パーティーで多くの参加者がビールで乾杯したのが始まりとされています。

ドイツといえばビール。毎年9～10月に開催され、東京ドームの約9倍の会場に14ものビアテント、移動遊園地、パレードなどが登場します。来場者はビールをたらふく飲み、屋台で熱々のソーセージにかぶりつき、思う存分1日を楽しみます。昨年は世界中から600万人の人が訪れ、700万リットルものビールが消費されました。世界一のビールの祭典です。

日本でも2003年から開催されるようになり、多くの人が楽しむイベントとして定着しつつあります。「オクトーバーフェスト＝ドイツビール祭り」という日本らしい解釈で、現在では夏の日本各地で行われるようになったそうです。近場では金沢で、8月の終りに開催されていたみたいです。「10月のおまつり」って名前なのに、もはや日本ではビールの美味しい夏の風物詩となりつつあります。 <ビールが一番でしょ>

アクティブグループ

「アクティブグループ」とは、コラーレ倶楽部会員の中で、特に意欲的・積極的に活動するメンバーが集う、いわば「サークル」みたいなもの。自己表現したい人、裏方に興味のある人、ボランティア活動したい人……何かしたくてムズムズしている人な人たちが、それぞれ自分の得意分野を持ち寄り無形の情熱を有形に変えていくグループです。何を上げるかによって構成メンバーは変化するでしょう。しかし、主役は常にあなた自身です。

アクティブグループ活動場所として、専用の部屋を無料で開放しています。ミーティングなど、お気軽にご利用ください。興味を持ったサークルがあれば、コラーレまでご連絡ください。



コラーレ倶楽部アクティブグループ 10月の活動予定

大人のピアノサークル ドレミの会
ピアノを楽しんでいます。特に指導はありません。
▼10月12日(出)・26日(出) 各日 13:00～17:00

弦楽サークル 楽屋ストリングス
ヴァイオリンを楽しみましょう。初心者大歓迎。
▼10月毎週(月) 各日 19:30～22:00

アコギを楽しむ会
アコースティック・ギターを楽しみます。見学歓迎。
▼ミーティング：10月6日(日) 19:00～22:00
練習：10月19日(出) 19:00～22:00

消しゴムはんこづくり べったん
1回だけの参加も大歓迎。初心者もOK、材料費必要。
▼10月31日(木) 19:30～21:00「冬間近」

コンテンポラリーダンス ミラージュゲート
年齢・性別・経験を問わず、ダンスを楽しみましょう。
▼10月10日(木) 19:00～21:00

コラーレ倶楽部通信新聞部
この倶楽部通信を毎月作っています。お仲間募集中。
▼ミーティング：10月7日(月) 19:30～21:00

お問い合わせ：コラーレ (tel. 0765-57-1201)

こんなン観てきました！

コンサート、お芝居、映画、美術展など、倶楽部会員からの鑑賞レポートが届きました。

賈鵬芳 (ジャー・パンファン) ^{ふるさと} 郷コンサート「新章」
2019年8月25日/新川文化ホール

ジャー・パンファン氏は中国生まれの世界的二胡奏者です。毎年この時期、献身的な実行委員会の支えのもと、郷土のシンセサイザー奏者の滝沢卓氏と郷コンサートをしています。今回は14回目とのこと。私はこのコンサートに足を運ぶのが5回目、毎回二胡の美しい音色と卓越した演奏に新鮮な驚きを感じています。今回のサポートメンバーは、ピアノの美野春樹氏、そしてパーカッションの石川智氏です。

いよいよ開演。1曲目は美野氏作曲の「夏色の風」。暑い夏というよりは、爽やかな夏を思わせるゆったりとした曲調。ふくよかで艶のある二胡の音色をピアノが優しく包みます。そして様々な色彩を添える石川氏のパーカッション。打楽器は文字のごとく叩くものと思いましたが、いやはや首飾りを沢山東ねた楽器は小さな沢をつたう水の流れの様。細い金属の棒が並んでいる楽器はキラキラと輝く光の音のようでとても驚きました。歌謡曲やアニメ音楽など様々な曲が演奏されましたが、アレンジがとても素晴らしく、二胡の無限の表現力の可能性を感じました。そしてなんとも魅力的だったのが3人の曲間に織りなすトーク。会場が幾度となく笑いに包まれました。ゲストとして出演の滝沢氏は自身のオリジナル「春色食堂」など3曲を共に演奏。福光町に実際にある食堂のほのぼのとした情景、刹那に変わる人々の心模様を見事に楽曲に映して見せていました。氏はアンサンブルによって新たな命が吹き込まれたと感謝の思いをコメントしていましたが、会場のお客さんも同じ気持ちであったと思います。圧巻は美野氏がジャー氏に提供した楽曲「タンゴ・オブ・エイジア」。ジャー氏は情熱的なタンゴの曲をたった2本の弦しかない二胡を自在に操り見事に精魂の演奏を披露して見せたのです。鳴りやまぬ拍手の嵐。毎年繰り返し足を運ぶお客さんが沢山いることの原因が分かる感動的なコンサートでした。 <にこにこ/男性>

24時間ぶっとおしライブ
2019年8月25日/カラーレ

カラーレ「24時間ぶっとおしライブ」に行ってきました。「愛は地球を救う・24時間テレビ」の趣旨に賛同したチャリティーライブです。22回を迎える今年のライブのテーマは「ひとりじゃない」。例年多くの方がライブに参加、募金にも協力。昨年までのこのライブでの募金累計は9,909,525円。お昼の時点で177,766円の募金があり、何と累計1,000万円を超えました！

私は日曜の朝8:30から、8月のカラーレ倶楽部通信で特集されていた『カラーレ倶楽部が奏でるとき』から見に行きました。トップバッターの「ドレミの会」は最近彼方此方のストリートピアノでも人気の「夢の中のウェディング」から始まり「アイ・ライク・ショパン」等4曲が演奏され、優しいピアノの音色を楽しみました。2番手の「アコギを楽しむ会」の時には、客席から手拍子や大きなコールがお目当てのヴォーカルにかかり、「楽屋ストリングス」では水戸黄門が登場。お馴染みの「この印籠が目に入らぬか！」の演出もあり、楽しく和やかな雰囲気になりました。10:00からは中高生の吹奏楽、マンドリンやアコーディオン等の『音をひとつに重ねるとき』、子供たちのダンス、キーボードオーケストラの『U18の夏がはじけるとき』、大人のコーラスや吹奏楽等の『日本の調べに想うとき』と続き、高校生の爽やかな司会陣のもと進んでいきました。15:00いよいよ今日の一番の目的『こころと心をつなぐとき』の時間です。「舟見本陣太鼓」「張鶴二胡教室」、そしてアカペラグループ「CHEERS!」の出番です。13回目3年ぶりの出演とあって客席も大賑わい。何と1曲目は「津軽海峡冬景色」、石川さゆりも真っ青なくらい艶っぽい歌声に度肝を抜かれ、「ハナミズキ」等の繊細なハーモニーと、「楽しく歌って元気で長生き！」がモットーのリーダーの絶好調のトークを堪能しました。来年も楽しみにしています。 <あまちまり/女性>



プリンセスQPズバリ占う！あなたの10月の運勢



- 【1月生】現状を見つめ直す星回り。恋愛は迷いがある、思い切りが大切。金運好調。仕事はゆったりと取り組めば吉。
- 【2月生】いつも通りを心がける星回り。普段と違うことは避けて吉。恋愛運乱れる。金運低迷。仕事運上昇、絶対好調。
- 【3月生】不思議な魅力が備わる星回り。恋愛は前向きで吉。金運良好。仕事は絶対好調。ハメを外す事と食べ過ぎ注意。
- 【4月生】理想と現実のギャップに悩む星回り。衝動的言動に注意。恋愛運低迷。金運好調。仕事は行動範囲を広げて吉。
- 【5月生】自分らしさを大切にす星回り。恋愛運絶対好調。金運低調。仕事は価値観が違う人にイラつくが得るものあり。
- 【6月生】何事にも新鮮な気持ちで過ごせる星回り。恋愛運好調。金運お金の貸し借り注意。仕事は人に花を持たせて吉。

- 【7月生】晴れやかな気分の星回り。感謝しつつ前進へ。恋愛はライバルに勝利。金運良好。仕事は無理に白黒つけず吉。
- 【8月生】饒舌さが裏目に出る星回り。恋愛は損得勘定で動くがダメ。金運絶対好調。仕事は親しき仲にも礼儀あり甘え注意。
- 【9月生】楽しい事が起こる星回り。恋愛運絶対好調。金運気次第でお金は使わない事。仕事は助けて貰う後日恩返しを。
- 【10月生】集中力が続かない星回り。恋愛は同性に対抗心が湧く。金運低迷。仕事は技能や知識の向上にツキがあり吉。
- 【11月生】解決策が浮かぶ星回り。覚悟を決めて問題に取り組めば吉。恋愛運絶対好調。金運無駄遣いに注意。仕事運好調。
- 【12月生】周囲とタイミングが合わない星回り。恋愛はトラブルの暗示。金運低迷。仕事は雑用を笑顔で引き受けて吉。

編集後記

- 最近毎日カエルを見る。私が用事で夜出かけるときも、帰って来るときも必ず玄関の前にいる。お出迎えをしてくれていると思いきや、私の顔を見ると焦って逃げていく。手すりにつかまると、同じ色をしたカエルがあと3cmの所に!! <月がふたつ>
- 化粧の効用として「スキンケアは癒しをもたらす、メーキャップは励みをもたらす」と、内館牧子さん著『すぐ死ぬんだから』にありました。しかし男性が化粧を電車の中でしているのを見てしまった私はドン引き……遂にここまで来たか。 <み>
- 左足の付け根に違和感があり気功矯正を受診。背骨や骨盤回りを触診してズレを矯正してもらった。歪みが起きる原因は運転時や座った時の姿勢の悪さから。うたた寝、足を組む、肘枕は厳禁。わかっちゃいるけど、ついやっちゃうんだよね。 <布袋>
- ある人のブログに、他人の言葉や気持ちに耳を傾けることができる人は「聡」明。公を取ったのが「恥」。自分の気持ちしか考えない人は「恥ずかしい」とあった。なるほど。「公」を忘れたか、持ち合わせてないのか？ 先ず我が県の政治家を見て思う。 <バベボ>
- 10月の声を聞くと気候も落ち着いて晴れの日も多くなりますね。運動会、遠足、様々な行事が催されます。澄んだ空においしい空気。空気さえ美味しいのだから、ご飯が進む、進む。一旦停止ラインを沢山もうけなくちゃ。 <太っちの>
- 季節の変わり目、夜中に発熱が。前日まで無理するような事はしていなかったのに。原因といえば、きっと某大学での試験だろう。寒すぎて、寒すぎて、私の体温を一定に保つ事が出来なかったからだ。もう1枚、服を用意しておくべきだった。 <どら>



九州、ついでの観光・温泉巡り (Part. 3)

由布院2日目です。もちろん、温泉は満喫しています。さて、楽しくて、面白くて、印象に残る、個性的な美術館巡りの始まりです。

まずは『ドルドーニュ美術館』へ。普通の家っぽい。玄関には鍵が掛かっています。じゃあと、数メートル先にある超個性的な黒っぽい外観の木造建築・末田美術館へ。ここも扉に鍵が掛かっている。「御用の方はベルを」との紙。ベルを押して暫く待つ……ダメかと思ったその時、白髪の小柄なお爺ちゃんが鍵を開けた。「美術館はやってますか?」「やっています」「どんな物の展示ですか?」「観たら分かるよ」「では」と入館料を渡し中へ。「庭にも展示物がある。途中で出口があるから庭へ出て」「分かりました」ここは彫刻家・末田龍介と造形作家・末田菜御夫妻の個人美術館。モノトーンのモダンな館内。石・金属・プラスチック素材の現代彫刻など約百点の展示。館内は私達だけ。庭に出ると庭を掃いているお婆ちゃんに遭遇。ご挨拶して通る。管理人のお爺ちゃんと掃除のお婆ちゃんか? いいえ! 実は、末田御夫妻でした。龍介氏は1928年生まれ現在90歳超え? 1981年に湯布院で最初に誕生した私設美術館だそうです。凄いわ!



さて、もう一度ドルドーニュ美術館を覗いていると、ひとりの婦人が声を掛けて来ました。「孫の運動会に行っていて……どうぞ!」この人こそドルドーニュ美術館の館長の裏さんでした。由布院佐土原より移築された古民家を美術館として整備し、九州に関係がある画家を中心にコレクションされています。ここで、裏さんが親しくしているイギリスの水彩画家・ギャレス・ネイラーさんの水のある風景の1枚、佐世保で描いた「ISLAND IN THE SUN」を購入。旦那が久々に欲しいと言った絵です。旅の思い出にと、ちよこっと奮発して買いました。

次は由布岳信仰の拠点であった『佛寺』へ。そして、いよいよ、由布院街の中心地に大鳥居が立つ、『宇奈岐日女神社』へ。神社は大鳥居から1kmほど離れた所にあります。湯布院の守護神として崇められています。「うなぐ」とは勾玉等の飾りを意味し、勾玉をつけた身分の高い女性が巫女として仕えた神社。境内に樹齢600年を超える大杉があり、とても印象的です。最後は『由布院ステンドグラス美術館』と隣の『聖口バート教会』へ。美術館のステンドグラスもさる事ながら、教会のステンドグラスは自然光の中で気品を備えていて、敬虔な空間を堪能できました。いやあ、ついでの観光・温泉巡りだったけど楽しかったな。【おわり】

<由布院と湯布院、どちらも有るのよ/み>



新聞部からのおてがみ

10月に入れば秋も真っ盛り、隣は何をする人ぞ? 栗ご飯にさんま、秋の幸をほうばってもう動けませんってことになってませんか?

我がカラーレ倶楽部の皆さんは違いますよね! そう、ひたすら芸術の秋に動かしみましょう。そここでお勧めなのが、特集でも紹介している消しゴムはんこづくり。虫たちが奏でる自然のオーケストラを聴きながら溢れ出る想像力を形にしましょう! べったんべったんって、お餅を想像しちゃう? いいんです、それで。年賀状にびったしのスタンプの出来上がり! <ユーやっちゃんよ>



投稿記事募集中

【こんなン観てきました】
コンサート、演劇、映画、美術展等の鑑賞レポート。会場はカラーレ以外でもOK。500文字程度で、公演タイトルと鑑賞日も忘れずに。

【気ままになんでも写真館】
あなたが撮った写真を送ってください。「畑でできた大きな大根を見て」「我が家のペットです」等、何でもOK! コメントは120文字程度で。

【わたしのたび紀行】
国内、海外旅行問わず、旅行の体験を800文字程度で書いてください。

カラーレ倶楽部通信新聞部

〒938-0031 富山県黒部市三日市20番地 カラーレ
TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207 info@colare.jp